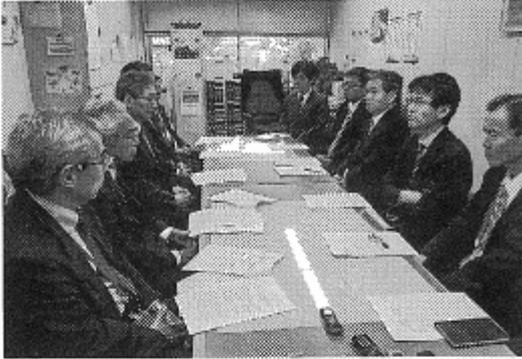


4月25日付【建設工業新聞】  
水コン協、国交省 下水道部と意見交換  
＜PPPでノウハウ強化＞

PPPでノウハウ強化

水コン協、国交省  
下水道部と意見交換



全国上下水道コンサルタント協会（水コン協、村上雅亮会長）は24日、東京都内で国土交通省水管理・国土保全局下水道部（森岡泰裕部長）との意見交換会を開いた。写真。下水道を巡

る事業環境が厳しさを増す現状を踏まえ、水コン協がPPP分野で果たす役割やBIM（ビルディング・インフォメーション・モデリング）／CIM（コンストラクション・インフォメーション・モデリング）の普及に向けた取り組み、働き方改革の推進について話し合った。

PPPについて、水コン協は「企画調整」の分野で強みが発揮できるとし、人材育成の強化とノウハウの蓄積を図るとした。国交省はコンサルタントの業務内

容や導入効果を明確化し、自治体に分かりやすく説明する必要があると指摘した。BIM／CIMについては「下水道BIM／CIMガイドライン（試行版）」を基に、互いに普及・拡大に取り組むと確認。水コン協がコンサルタントの就業環境の改善で自治体への提案活動を行うと報告した。